



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 油 研 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 永 久 秀 治
(コード番号 6393 東証第 1 部)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 萩 野 嘉 夫
(T E L 0467-77-2111)

平成 30 年 3 月 期 個 別 業 績 の 前 期 実 績 値 と の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ

当社は、平成 30 年 3 月 期 (平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日) の個別業績において、前期の実績値との差異が開示基準に達することとなりましたのでお知らせいたします。

当社はこれまで当該期間に係る個別業績の予想を公表しておりませんでしたので、対比につきましては前期の実績値と比較しております。

記

1. 個別業績における前期実績値との差異について (平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前期実績 (A) (平成 29 年 3 月 期)	15,396	321	596	508	120.07
当期実績 (B) (平成 30 年 3 月 期)	16,270	784	1,294	1,091	260.25
増減額 (B - A)	873	462	697	583	
増減率 (%)	5.7	144.0	116.9	114.8	

当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。上記に記載の「1 株当たり当期純利益」は前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

2. 差異の理由

売上高につきましては、米国・中国を中心とした世界景気の回復基調に伴い国内外とも需要が堅調に推移し、主力市場である射出成形機分野を中心に標準機器の販売が堅調に推移したこと等により前期業績数値を上回りました。

利益面につきましては、生産の効率化、固定費の削減への取り組み、為替円安の影響等により、営業利益、経常利益、当期純利益とも前期業績数値を上回りました。

以 上